

授業改善推進プラン < 数 学 科 >

(数 学) 科における令和元年度授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

単元ごとの確認テストや週末課題などの定着により学力の基礎基本がはかれているように思える。

概ねどの領域においても目標値と同程度以上の正答率を残すことができた。しかし、どの学年も「関数」領域では目標値を下回り、課題が残った。

(数 学) 科における調査結果の分析

内容別結果の分析	<p>1 学年：基本的には各内容目標値を上回っているが、「比例・反比例」で 5.8 ポイント、「整数の性質」で 6.4 ポイント下回った。</p> <p>2 学年：ほとんど各内容目標値を上回っているが、「比例・反比例」で 9.7 ポイント下回った。</p> <p>3 学年：概ね各内容で目標値を上回ったが、「証明」で 8.5 ポイント下回り課題が残った。</p>
観点別結果の分析	<p>1 学年：基本的には各内容目標値を上回っているが、「数学的な技能」、「数学的な見方考え方」、「数量や図形などについての知識・理解」で一項目ずつ目標値を下回った。</p> <p>2 学年：ほとんど各内容目標値を上回っているが、「数学的な技能」で 9.7 ポイント下回った。</p> <p>3 学年：概ね各内容で目標値を上回ったが、「数学的な技能」で前年度より 4.5 ポイント下回った。</p>

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 学年：「関数」領域に課題が見られるので、電子黒板を使い視覚に訴える授業を行うとともに、ステップ学習を活用し補っていく。
- 2 学年：「関数」領域に課題が見られるので、電子黒板を使い視覚に訴える授業を行うとともに、ステップ学習を活用し補っていく。また、ステップ学習のチャレンジプリント等を活用し、より発展的な内容にも取り組んでいく。
- 3 学年：「証明」及び「関数」領域に課題が見られるので、ステップ学習を活用し補っていくとともに、「関数」領域に関しては電子黒板を使い、視覚に訴える授業を行っていく。

(数 学) 科の授業改善策

- 2 学年：基礎基本の定着を基盤とし、発展クラスを中心にステップ学習のチャレンジプリント等を活用し、より発展的な内容にも取り組むことで、更なる学力向上を目指していく。
- 1, 3 学年：苦手な領域に関しては、電子黒板を活用し、イメージで捉えることに重点をおき、視覚に訴える授業を展開していく。また、ステップ学習のフォローアッププリントやたしかめプリントを活用することで、学習の定着を図っていく。